

令和 7 年度宮古テレビケーブルテレビネットワーク耐災害性強化事業
(線路設備) 入札仕様書

1 件名

令和 7 年度宮古テレビケーブルテレビネットワーク耐災害性強化事業 (線路設備)

2 目的

宮古テレビ株式会社 (以下、「当社」という。) は、宮古地区のケーブルテレビネットワークの耐災害性強化及び高精細度映像の視聴環境の構築を目的とした各種設備工事を実施する。

本仕様書は、図面に示す光ケーブルを敷設し、既設 FTTH 線路設備と接続するための仕様及び付帯業務について規定するものである。

3 業務範囲

(1) プロジェクト管理

資材の調達から設置を円滑に遂行するための進捗管理、コミュニケーション管理、品質管理及び安全管理を行う。

(2) 線路設備の調達、設置

必要な線路設備の調達及びセンター機器等を含めて線路設備の敷設、接続等に必要な一連の作業を実施する。資材、機器の調達、搬入、線路敷設、センター配線、調整及び試験等の一切の作業を含むものとする。

整備する線路設備の詳細は、別紙「線路設備調達仕様」に示す。

(3) 完成図書の作成

本業務内で実施した内容及び指定された資料、図面等を添え、完成図書として提出すること。完成図書は、印刷物及び電子媒体で各 1 部を提出すること。

4 工期

契約締結の日から令和 8 年 3 月 31 日

5 納入場所

城辺、下地、上野の一部および当社宮古局 3 F センター機器室内

6 契約不適合責任

(1) 受注者は、本仕様書に基づき納入した成果物 (以下、「本件成果物」という。) が、種類、品質 (性能を含む)、数量に関して契約の内容に適合しない場合 (以下、「契約不適合」という。)、契約不適合責任を負うものとする。

(2) 当社は、本件成果物の引き渡しを受けてから 1 年以内に、本件成果物に契約不適合があることを発見した場合、受注者に対し、追完 (修補、代替物の引き渡し、不足分の引

き渡しなど)を請求することができる。この場合、受注者は、当社の指定する期間内に速やかに自己の費用と責任において追完を行わなければならない。

但し、受注者が契約不適合を知りながら告げなかった場合は、この期間の適用はないものとする。

- (3) 前項の追完請求にもかかわらず、受注者が相当の期間内に追完を行わない場合、または追完が不可能な場合、当社は、契約不適合の程度に応じた代金の減額を請求することができる。
- (4) 当社は、本件成果物の契約不適合により損害を被った場合、受注者に対し、その損害の賠償を請求することができる。ただし、受注者の責めに帰することができない事由により契約不適合が生じた場合は、この限りではない。

7 受注者の義務

- (1) 本仕様書及び当社の指示、指導に基づき業務を忠実かつ確実に履行すること。
- (2) 本業務一切の重要性を十分理解し、安定した運用を維持継続するため、入札時に提示した線路設備等を調達、設置すること。
- (3) 調達した線路設備については、「5 納入場所」に示す場所において、本仕様書で定める機能を十分発揮するよう設置・調整を行うこと。
- (4) 受注者は、業務上の知り得た情報を契約履行期間中か否かに関わらず、第三者に開示したり、漏えいしたりしてはならない。
- (5) 本業務に先立ち、工程表を作成し、これら資料を基に発注者と協議のうえ、作業日程等を決定すること。また、当社と定期的に工程会議を実施し、その議事録を作成して提出すること。
- (6) 本業務完了後においても、補助金の実績報告書作成等で当社が必要とする書類等の作成・提出を求められた場合は、速やかにそれに協力すること。

8 仕様書の解釈及び疑義

本仕様書の内容に疑義が生じたときには、入札参加者は入札説明書別記3の照会先に電話またはメールで確認すること。

別紙

伝送路設備調達仕様

1 調達設備

光ケーブル（8、16、24 心）	S Mスロット型光ケーブル
	伝送損失 0.4dB/km 以下（ $\lambda = 1310\text{nm}$ ）
クロージャー（直線・分岐用）	MJC-KD3-M 相当品
スパイラルハンガー	SHRU-1500 相当品
装柱金物	
光アンプユニット	住友電工製 N-SPN(PB)-SC-22X8P-SC
光スプリッタモジュール	住友電工製 BSMP3A-M 〈1X8〉〈APC〉
光スプリッタモジュール	住友電工製 BSMP3A-M 〈1X16〉〈APC〉
光スプリッタモジュール	住友電工製 BSMP3A-M 〈1X16〉〈UPC〉
EPON 回線カード（住友電工製）用 XFP モジュール（10G-EPON）	
両端コネクタ付単心コード（SC/APC-SC/APC）15m	
両端コネクタ付単心コード（SC/APC-SC/APC）4m	
両端コネクタ付単心コード（SC/APC-SC/APC）1m	
両端コネクタ付単心コード（SC/APC-SC/UPC）15m	
両端コネクタ付単心コード（SC/APC-SC/UPC）5m	

2 基本仕様

本工事は、城辺、下地、上野の各地区の既設光幹線伝送路をループ状に接続し、一部の重要拠点施設に対して放送・通信のバックアップ回線を構築する。

また、既設センター機器は住友電工製の機器であるため、センター機器のユニット、モジュール類は指定品とする。

光伝送路敷設は、メッセンワイヤーが無い区間は架線新設工事を行い、光ケーブルを敷設する。

FTTH 方式	放送・通信別心の 2 心 3 波パッシブダブルスター方式 また、本工事で接続する光ケーブルは、ヘッドエンド内でのみ分岐され、線路上では分岐しない。
---------	--

城辺地区

光幹線接続起点	既設ロケージャー F3-12
光幹線接続終点	既設ロケージャー F3-29
光ケーブル心数	16C（放送 8C／通信 8C）

光ケーブル長	2635m
メッセンワイヤー起点	新城 50
メッセンワイヤー終点	吉野 34 外 9
メッセンワイヤー長	1307m

下地地区

光幹線接続起点	既設ロクージャー E3-11
光幹線接続終点	既設ロクージャー D3-11
光ケーブル心数	24C（放送 12C／通信 12C）
光ケーブル長	2391m
メッセンワイヤー起点	棚根 68
メッセンワイヤー終点	入江 65
メッセンワイヤー長	1012m

上野地区

光幹線接続起点	既設ロクージャー E2-01
光幹線接続終点	既設ロクージャー E2-06
光ケーブル心数	8C（放送 4C／通信 4C）
光ケーブル長	948m
メッセンワイヤー	新設区間なし

3 設置作業

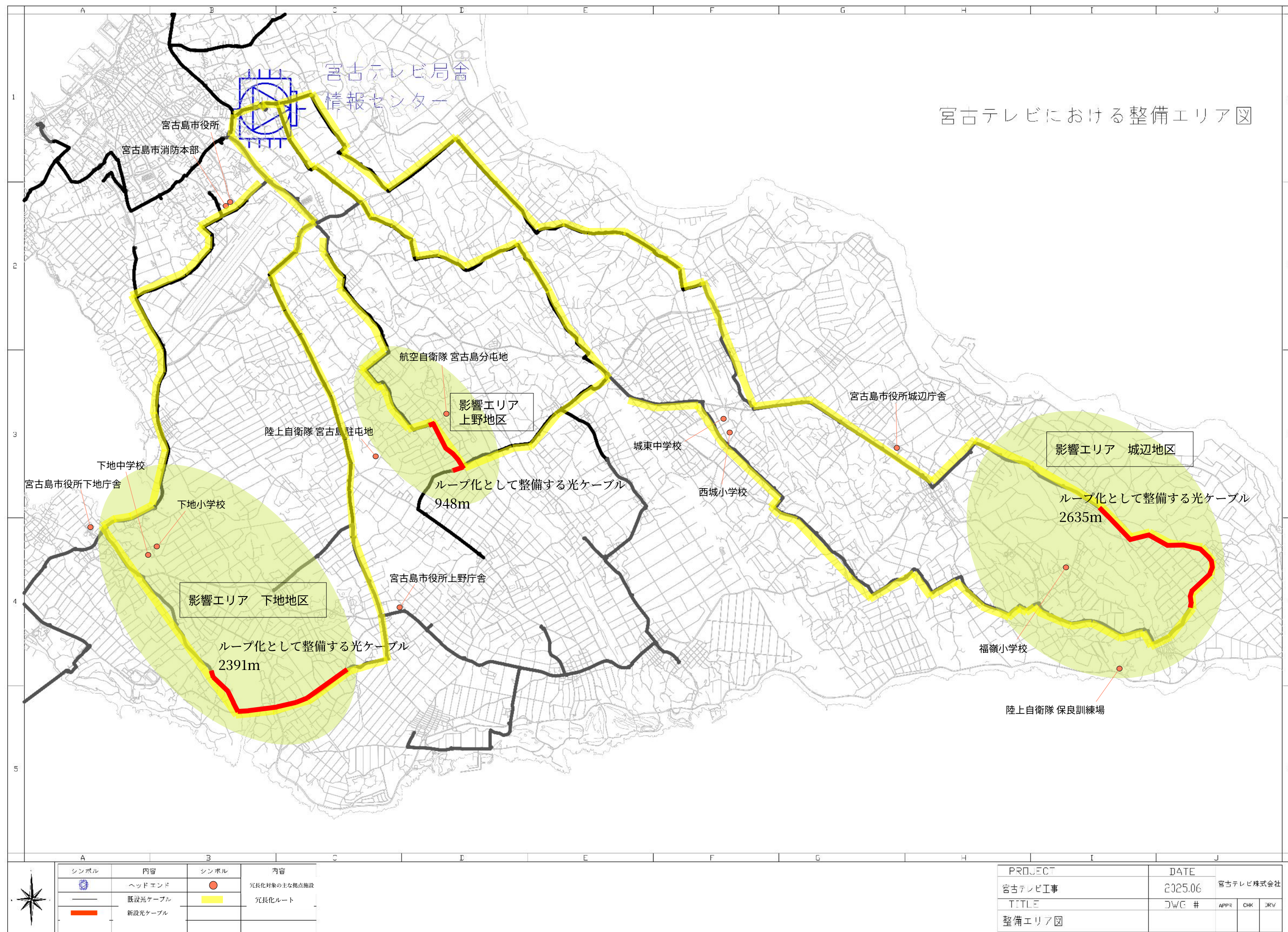
- (1) 工事実施前に現地調査を行い、メッセンワイヤー敷設区間、光ケーブル敷設区間等を確認し、図面と相違がある場合は当社に確認し、協議すること。
- (2) センター機器と接続する場合は、既存サービスに影響がないよう注意すること。

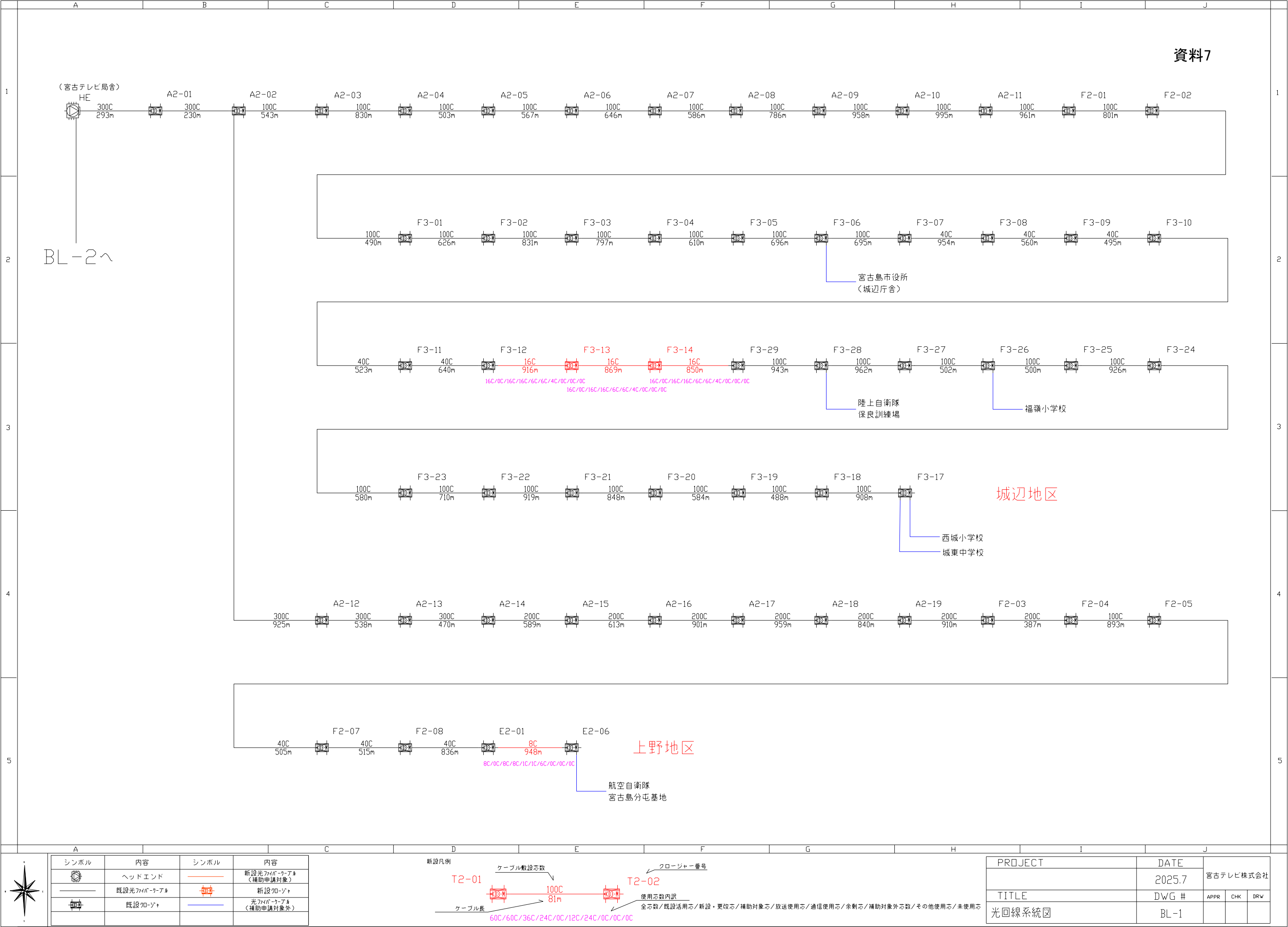
4 完成図書作成

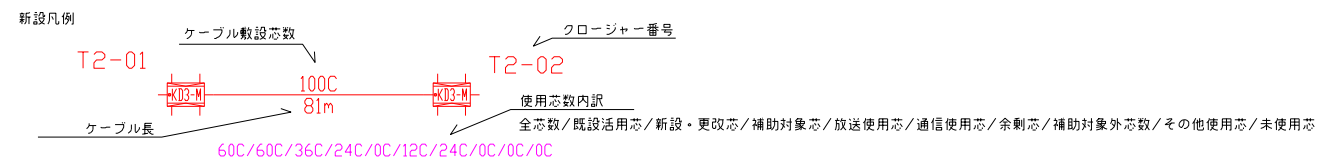
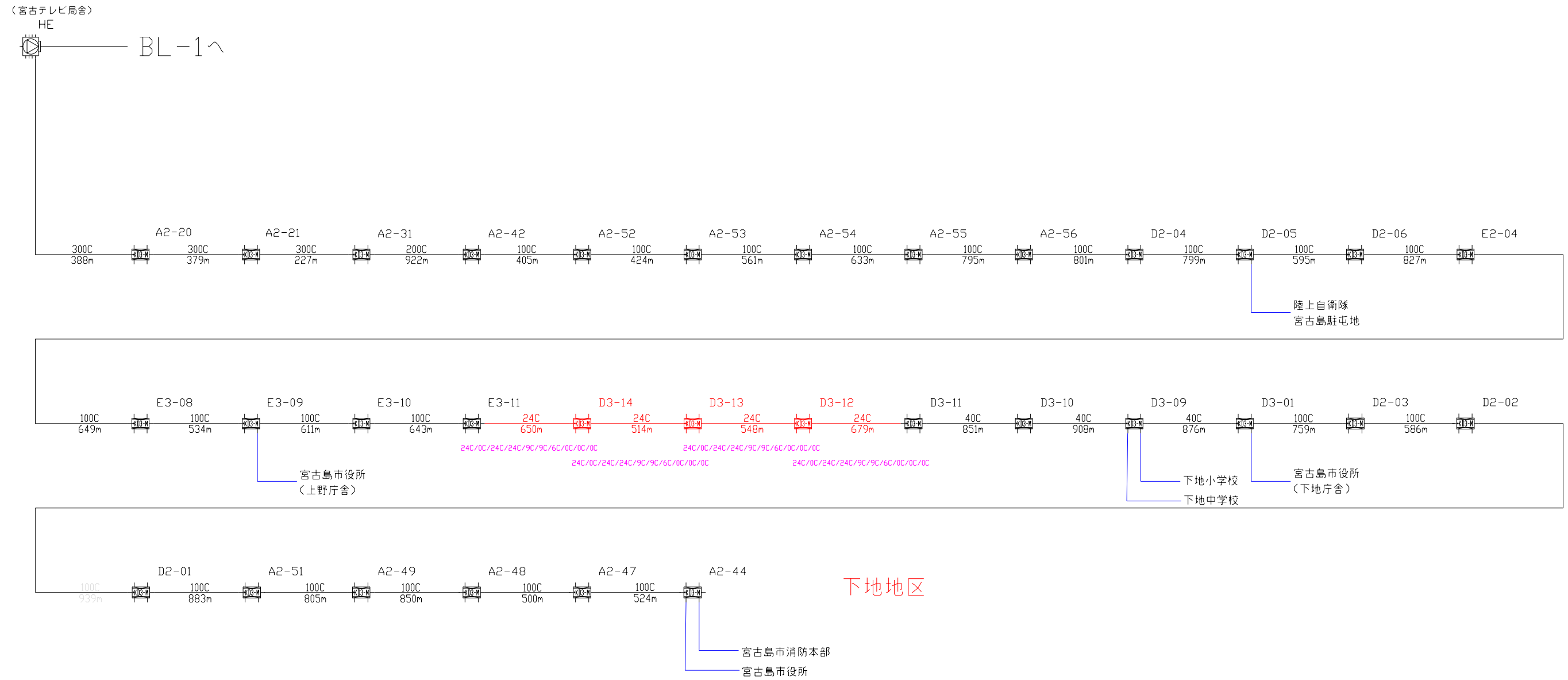
完成図書を作成し提出すること。

- 整備エリア図
- 線路図
- 接続図
- 光回線系統図
- 装置系統図
- 装置実装図
- 設備納入仕様書（機器仕様書、説明書等）
- 施工写真
- 試験成績表
- その他必要な書類

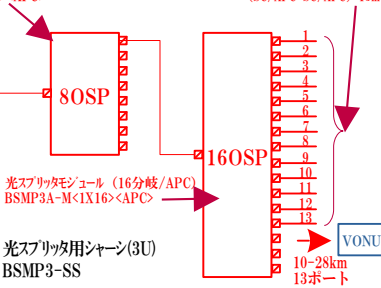
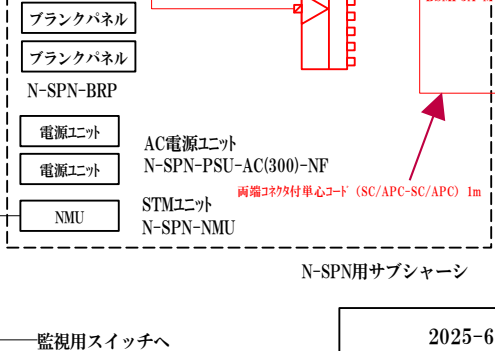
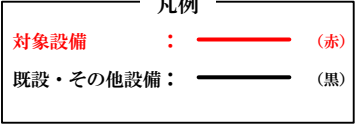
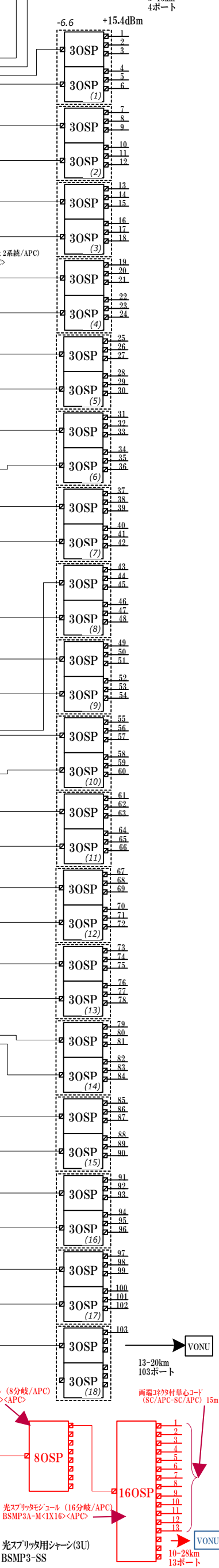
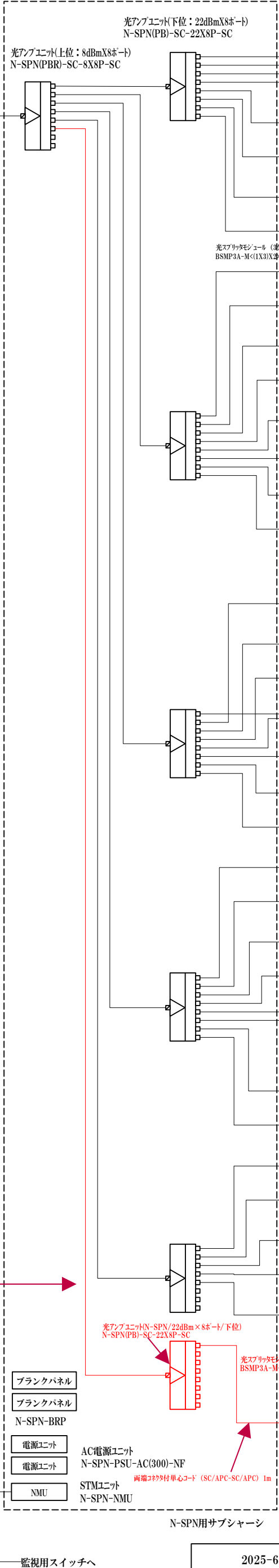
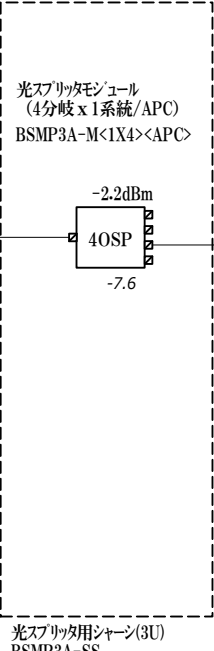
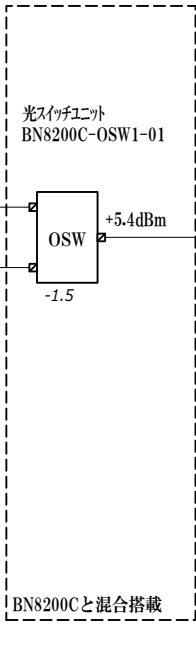
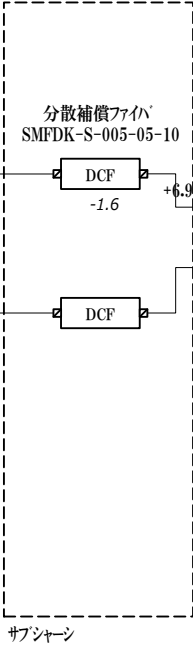
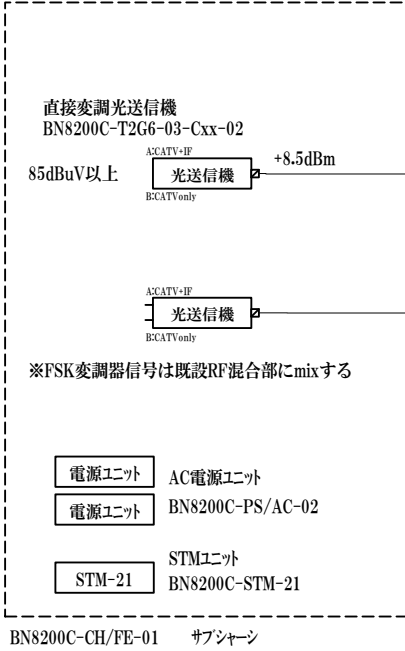
以上



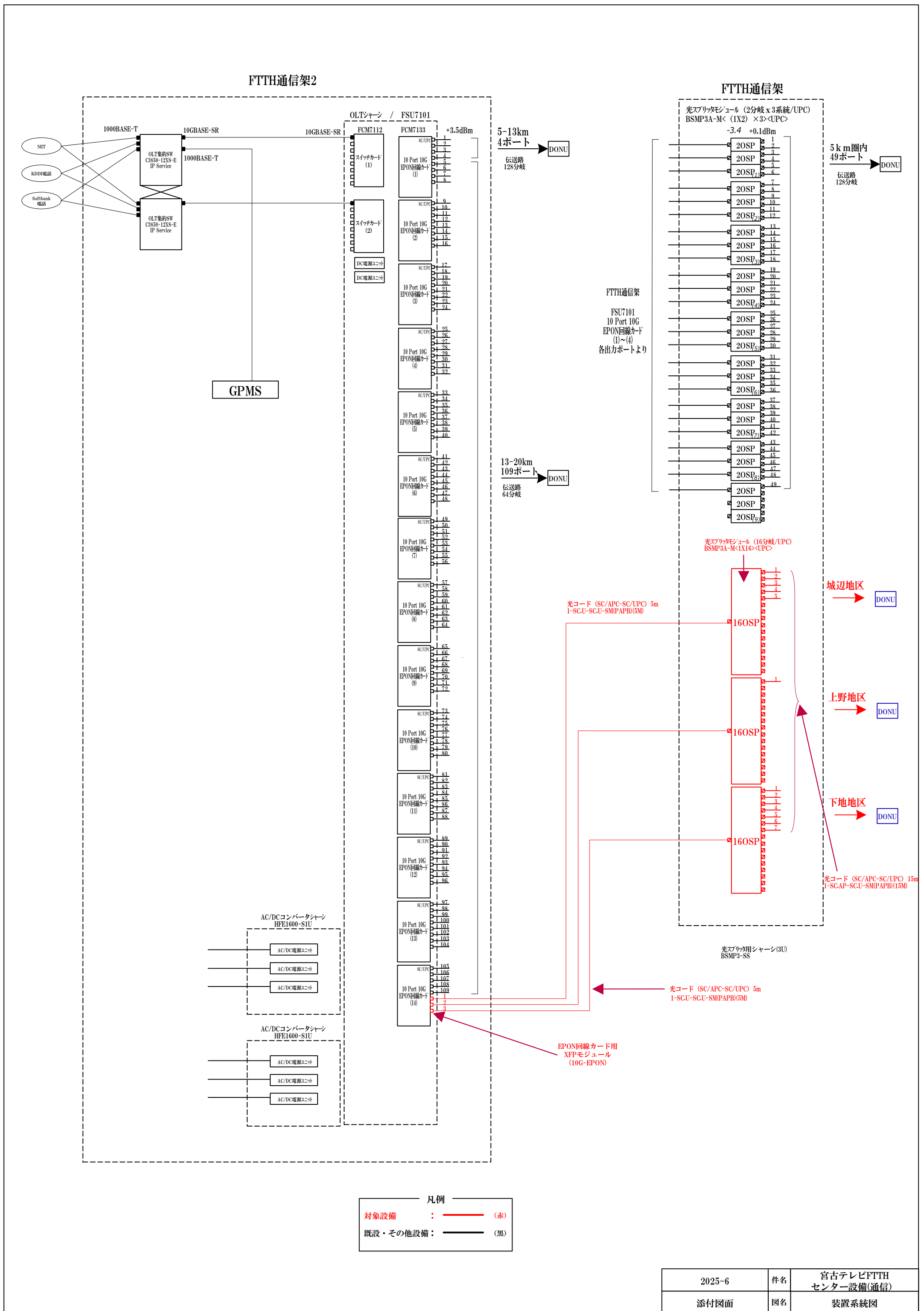


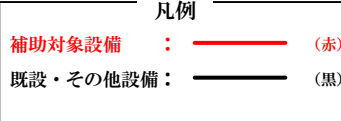
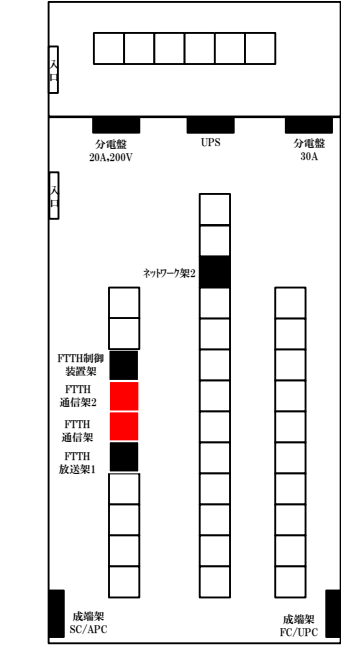


PROJECT	DATE	宮古テレビ株式会社		
	2025.7			
TITLE	DWG #	APPR	CHK	DRW
光回線系統図	BL-2			



2025-6	件名	宮古テレビFTTH センター設備(放送)
添付図面	図名	装置系統図





2025-6	件名	宮古テレビFTH センター設備(放送通信)
添付図面	図名	装置実装図